

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 686)	大腸癌根治切除術後における再発予測因子の予測精度と再発時期による推移
当院の研究 責任者(所属)	黒田 大介 (熊本市民病院 消化器外科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	大腸癌において、従来の血液検査や身体測定から算出できる合併症予測、再発リスク因子が多数報告されている一方で、それらリスク因子の予後予測精度や、術後期間の推移による予測精度の変化について検討された報告はありません。今回、大腸癌根治切除症例において、腫瘍因子(pStage)を参考に、炎症性指標(neutrophil to lymphocyte ratio(NLR)、platelet to lymphocyte ratio(PLR)、inflammation response index(SIRI)、advanced lung cancer inflammation index(ALI)、栄養指標(prognostic nutritional index(PNI)、geriatric nutritional risk index(GNRI))の再発予測能の系時的推移について比較検討しました。これらの結果を明らかにすることにより、術後サーベイランスの各時期における各指標の重み付けができるなど、臨床へのフィードバックが期待されます。
調査データ 該当期間	承認の日 から 西暦 2025 年 4 月 30 日まで
研究の方法	2019 年 10 月～2024 年 3 月に熊本市民病院にて大腸癌に対し、手術を施行した症例について、予後に関係する因子を検討します。

個人情報の 取扱い	匿名化されているもののうち、その記述単体で特定の研究対象者を直ちに判別できる記述等を全部取り除くような加工がなされているものを使用します。
本研究の資金源 (利益相反)	ありません
お問い合わせ先	熊本市民病院 消化器外科医員 黒田 大介 Tel:096-365-1711
備 考	